

図書館だより

H29-No. 1 2

平成30年1月15日発行
三刀屋高校図書館



学年締めくくりの学期、肝心です！

3学期が始まって、一週間経ちました。3年生は卒業後の進路に向け、準備を進めています。1、2年生の皆さんもステップアップの準備の学期です。今の学年でとりこぼしていることはありませんか？今学期が取り返すチャンスです。自分の将来を考えて、毎日を過ごしましょう。図書館はいつも皆さんを応援しています。by司書

＊＊新着図書案内 ＊＊

分類、書名、著者名、出版社、内容の順 ☆リクエスト

【マスメディア】

070-ノ 地方紙の眼力 改憲・安全保障・震災復興・原発・TPP・地方創生

農山漁村文化協会 編農山漁村文化協会
権力に従順な中央紙 VS 批判力を失わない地方紙。その地方紙の見識の実態を現場記者が報告。「なぜ地方紙の時代か」を識者が分析。

【生き方】159-ワ 続ける力

人の価値は、努力の量によって決まる
若田光一 著 講談社

高校野球の地方大会ではベンチ外でスタンド応援、パイロットは視力で挫折。それでも、夢見た宇宙には4回行けた。歩みを止めなければ「道」は拓ける！！日本人初！国際宇宙ステーション船長になった男が語る、失敗を成功に変える「リーダーシップ」と「フレームワーク」。

【社会科学エッセイ】

304-ア-2016-2 天声人語
2016年7月-12月

朝日新聞論説委員室著 朝日新聞出版
『朝日新聞』の名物コラム「天声人語」の2013年前半分を全収録。アベノミクスで超金融緩和、震災2年、アルジェリア人質

事件、柔道界の不祥事など、幅広いトピックス。時事年表・人名索引も収録。

304-モ 楽しい縮小社会

「小さな日本」でいいじゃないか
森まゆみ、松久寛 著 筑摩書房
「つつましい暮らしの幸せ」が、地球を、日本を救うカギ！作家と工学者、両極端な人生を歩んだ二人の刺激的な対話集。

【選挙】314-イ 池上彰の中学生から考える選挙と未来

池上彰 監修 文溪堂
選挙の大切さは、選挙のない社会を考えてみるとわかります。10代の中学生も、90代のおじいちゃんも、これさえ読めば選挙のことが丸わかり！

【人権】316-ミ ナビラとマララ 「対テロ戦争」に巻き込まれた二人の少女

宮田律 著 講談社
ナビラ・レフマンさんとマララ・ユースフザイさん。マララさんを襲ったのがイスラム過激派だったのに対し、ナビラさんに向けてミサイルを発



図書委員会から クリスマス会、サイコーでした！

昨年も40人近くが集まった恒例のクリスマス会。図書委員の絵本の読み聞かせもよかったし、吹奏楽部には素敵な演奏を披露してもらいました。オフィリア先生の歌声も素晴らしかった。最後のピンゴ大会で最高潮に。参加してくださった皆さんありがとうございました。そして参加できなかった人は、今年のクリスマス会にはぜひ参加してくださいね。待ってます。



射したのは、アメリカの無人機「ドローン」だった。マララさんはノーベル平和賞を受賞したが、ナビラさんの身に降りかかったことを知る人は、ほとんどいない。加害者の違いこそが、二人のその後の境遇を決定づけた。二人の少女の身の上に何が起きたのかを紹介しながら、アメリカとイスラムの関係の変遷や、パキスタンの部族地域の実態について、現代イスラム研究者の著者が解説

足、空き家激増、火葬場不足——人口減少という「静かなる有事」がどう進むかを語る！

【性の問題】367-ハ ハタチまでに知っておきたい性のこと

橋本紀子、田代美江子、関口久志 編
大月書店

こころとからだ、そして社会との関係…人間の性は、とって奥深く、おもしろい。現代の若者に必須の「性」に関する事柄を、さまざまな側面から取り上げた。

【33 経済】

331-カ 感じる経済学 コンビニでコーヒーが成功して、ドーナツがダメな理由

加谷圭一 著
SBクリエイティブ
1人カラオケの普及が新たにもたらしたものは？日本のケータイ電話料金って高い？経済の主演は誰だ？モノの値段は何で決まる？たくさん稼ぐにはどうすればよい？身近な疑問からわかる経済の本！



【38 風俗習慣】

382-ヘ 世界史モノ事典
平凡社 編 平凡社
モノから歴史が見えてくる。紋章・武器・乗り物・衣装など、古代から第二次世界大戦頃までの世界に存在した“モノ”約3000点の形と名前がわかる便利一冊。

382-ヘ 日本史モノ事典

平凡社 編 平凡社
消えたモノ、残したいモノ—武器・商工・酒食・仏神など、古墳時代から昭和30年代に日本に存在した“モノ”約4000点の形と名前がわかる便利一冊。よみやすい判型で再登場！

334-カ 未来の年表

人口減少日本でこれから起きること
河合雅司 著 講談社
大学倒産、介護離職増大、輸血用血液不

383-コ 食でたどるニッポンの記憶

小泉武夫 著 東京堂出版

終戦直後、野山を駆け回っていた小泉少年のお腹を満たした食べ物、懐かしいふるさとの味、そして戦後西洋化した日本の食卓まで。半世紀以上にわたるさまざまな食べ物との出会いを通して、日本の食文化の移り変わりをたどる。

385-イ 世界の産声に耳を澄ます

石井光太 著 朝日新聞出版

過酷な環境でも、日々生まれてくる新たな生命。先住民族、ストリートチルドレン、代理母出産、HIV感染者、紛争地…。海外ルポルタージュの名手が七年ぶりに世界を旅し、悲しみの現場から“希望”を見つめた、新機軸ノンフィクション！

【45地球科学】

451-ミ 雨はどのような一生を送るのか 降る前から降った後までのメカニズム

三隅良平 著 ベレ出版

古代から科学者たちは「雨はどのようにして降り、降った後はどこへ行くのか？」という問題にずっと頭を悩ませてきた。雨が降るまでのメカニズム、そして、降った後もつづく地球をめぐる水の旅について、私たち人類はどのように迫ってきたのか！？雨にまつわるサイエンスヒストリーから見えてくる「雨の一生」。

453-イ 絵でわかる地震の科学

井出哲 著 講談社

日本列島周辺では、1年に10万回以上、つまり5分に1回以上地震が起きています。もちろん、この数には大小さまざまな規模の地震が含まれます。では、「マグニチュード7以上」とか「8以上」の大きな地震はどの程度の頻度で起きるのでしょうか？また、それらの発生を予測することはできるのでしょうか？本書は、地震のメカニズムや法則を探る最先端の科学を解説します。

【49 医学】

490-七 今日すべきことを精一杯!

日野原重明 著 ポプラ社

将来のことをいたずらに思い煩わず、今日すべきことを精一杯やりなさい—医師として多くの患者と交流し、その最期を見届ける中で、身体的に健康であるというだけでなく、人生の充実とは何かを追い求めてきた日野原先生。現場に立ち続けたからこそ見えてきた真実と、自身が人生をまっとうする中で得た深い気づきからにじみ出す言葉に、私たちは勇気づけられ、こんなふうに歳を重ねられたらと願わずにいられない。105歳の医師の原点。

498-カ 最後の時を自分らしく

在宅医療ができること

レシャード・カレド 著新日本出版社

高齢者医療・介護の現場に必要なものは

【料理】596-サ 世界のサンドイッチ図鑑 意外な組み合わせが楽しいご当地レシピ

355 佐藤政人 著 誠文堂新光社

あまり日本人の口には合わなそうなもの、思いもよらないものをはさんでしまった激うまサンドイッチなど、見ているだけで楽しくなる唯一無二のサンドイッチ図鑑。

【農業】611-ニ 2025年日本の農業ビジネス

21世紀政策研究所 編 講談社

低迷する日本経済復活の切り札は農業「輸出大国化」「食品産業との融合」だ！経済・IT・農政のプロたちが描く、新たな農業のビジネスモデルと力強い未来像。

【絵画】723-ナ 中野京子と読み解く運命の絵

中野京子 著

文藝春秋

とめられぬ恋、終わらぬ戦い、狂気の先には！？画家の人生を変えた一枚、運命の瞬間を留めた名画一。英雄の葛藤、恍惚のとき、流



転の始まり…。描いた者、観る者の心を揺さぶるドラマに迫る！

【音楽】764-オ サヨナラノオ

ブラバンガールズの約束

オザワ部長 著 学研プラス

長崎県の活水高校、熊本県の玉名女子高校、東京都の藤村女子中学・高校…ブラバンガールズたちの日々を、オザワ部長が長期密着取材！

【83 英語】

834-シ イメージでつかむ似ている英語 使い分けBOOK

清水建二、すずきひろし 共著 ベレ出版

『どう違うのか』『なぜこの表現になるのか』間違いやすい、誤解しやすい似ている表現の違いを—イメージイラストと例文を挙げて詳しく解説！

837-フ ネイティブが感動する英語にない 日本語 日本ならではの「いい言葉」を知っていますか？

フォークルック幹治 著 河出書房新社

「お疲れさま」「しょうがない」「懐かしい」…私たちには当たり前のこんな表現がなぜか英単語にはない！！一言では英訳できない日本語ならではのフレーズに「便利」「繊細」「使いたい」の声しきり！バイリンガルの著者と一緒に日本語再発見。

【913 日本の小説】

913-オ 錆びた太陽

恩田陸 著 朝日新聞出版

立入制限区域のパトロールを担当するロボット「ウルトラ・エイト」たちの居住区に、国税庁から派遣されたという謎の女・財護徳子がやってきた。三日間の予定で、制限区域の実態調査を行うという。だが、彼らには、人間の訪問が事前に知らされていなかった！戸惑いながらも、人間である徳子の司令に従うことにするのだが…。彼女の目的は一体何なのか？

913-ク 15歳、ぬげがら

栗沢まり 著

講談社

母子家庭で育つ中学三年生の麻美は、「いちばんボロい」といわれる市営住宅に住んでいる。家はゴミ屋敷。この春から心療内科に通う母は、一日中、なにもしないでただ寝ているだけ。食事は給食が頼りなのに、そんな現状を先生は知りもしない。夏休みに入って、夜の仲間が、万引き、出会い系と非行に手を染めていくなか、麻美は同じ住宅に住む同級生がきっかけで、学習支援塾『まなび〜』に出会う。『まなび〜』が与えてくれたのは、おいしいごはん、頼りになる大人だった。泥沼のような貧困を生きぬく少女を描く！



913-ム 源氏物語 宇治の結び 上・下

[紫式部][原作]；荻原規子 理論社

薫中将、匂宮がひっそりと宇治で暮らす二人の姫君と出会い、二人の若者を思いがけない恋の淵へ導く。荻原規子によるスピード感あふれる新訳でおくる源氏物語宇治十帖。

【エッセイ】914-オ 学校へ行けなかった 私が「あの花」「こさけ」を書くまで

岡田麿里 著 文藝春秋

「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」「心が叫びたがってるんだ。」この二本のアニメは、日本中の心を揺さぶり、舞台となった秩父は全国からファンが訪れるアニメの聖地となった。実は、そのアニメの脚本を書いた岡田麿里自身が小学校で学校に行けなかった。これは、母親と二人きりの長い長い時間をすごして「お話」に出会い、やがて秩父から「外の世界」に出て行った岡田の初めての自伝。